



**まつど未来づくり会議**  
～松戸の強みを活かした未来への指針づくり～

# **地域連携分科会**

## **発表用資料**

**イマジンまつど**  
～私たちの明るい未来をつくる～

**平成21年11月7日（土）**

# 分科会委員

- 小野瀬 雄次
- 小山田 美和子
- 金子 雄二 (分科会長)
- 喜久村 徳雄
- 桑田 雅子
- 小寺 邦明
- 後藤 淳子
- 島尻 武雄
- 松川 正
- 丸山 孝子
- 藪田 京子 (副会長)
- 鈴田 正則
- 橋本 守



# 開催状況



- **第1回**：平成21年8月7日（金）17時10分～19時
- **第2回**：平成21年8月31日（月）17時～20時
- **第3回**：平成21年9月28日（月）17時～20時
- **第4回**：平成21年10月19日（月）17時～21時30分



## 政策1: 市民と行政の協働を推進する

目指したい姿の宣言文:

「市民の自立」「市民や事業者などと行政の対等な関係」をめざす協働のまちづくりを推進するため、地域拠点の機能(情報の開示と共有、組織の新たな連携など)を高め、町会(自治会)活動、地区社会福祉協議会の活動、NPO活動、ボランティア活動のそれぞれの活性化や連携を通して、安全・安心な豊かで活力のある郷土愛に満ちた誇れる“ふるさとまつど”を実現する

### 市民の役割

行政への期待  
行政への要望  
行政への連絡

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

市民の役割  
市民の役割  
市民の役割

行政への期待  
行政への要望  
行政への連絡

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

市民の役割  
市民の役割  
市民の役割

行政への期待  
行政への要望  
行政への連絡

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

### 行政の役割:

行政への期待  
行政への要望  
行政への連絡

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

市民の役割  
市民の役割  
市民の役割

行政への期待  
行政への要望  
行政への連絡

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

行政への情報  
行政への情報  
行政への情報

# テーマ



## 第1節 連携型地域社会の形成

1. 市民と行政の協働を推進する
2. 一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会をつくる



# 市民と行政の協働を推進する

# 目指したい姿の宣言文

**「市民の自立」「市民や事業者などと行政の対等な関係」をめざす協働のまちづくりを推進するため、地域拠点の機能（情報の開示と共有、組織の新たな連携など）を高め、地域活動（町会・自治会活動、地区社会福祉協議会の活動）、NPO活動、ボランティア活動のそれぞれの活性化や連携を通して、安全・安心な豊かで活力のある郷土愛に満ちた誇れる”ふるさとまつど”を実現する**



# 指標案



- 地域活動に参加している人の割合
- NPO法人の数
- 中間支援組織の数

# 市民の役割

- 他人事にせず、松戸市民としての意識をもって行動する
- 自分のできるところから、主体的に勇気をもって行動する
- 市民同士が啓発し合うようにする
- 行政の努力にも目を向け、その努力を正しく評価する
- 地域活動を活性化するようにする
- 心をオープンにして、市全体をみるようにする
- 一人ひとりが、心豊かな生活ができるように心がける

# 行政の役割



- 積極的に、市民の活動の中に入り、共に考え、行動する態度をもつ
- 情報を進んで市民に提供し、説明責任を果たす
- 組織間の横の連携をはかる
- 「市役所は市民の役に立つ所」を忘れず、市民の意見を積極的に聴くようにする
- 評価を受ける仕組みをつくる
- 職員は、コスト意識をもって仕事をする
- 中間支援組織の育成を強化する



一人ひとりの人権が尊重され、  
参画しやすい地域社会をつくる

# 目指したい姿の宣言文

松戸に住まう全ての人が認め合い、関わり合える平等で差別の無い温かな地域社会に向けて、喜ばれる（心のこもった）活動・対話・教育を通して、自分たちで創り上げる安心できる豊かなまちを実現する

# 指標案

- 身の回りで人権が守られていると思っている人の割合
- 固定的性別役割分担を支持しない人の割合
- 自分が差別されていないと感じている人の割合
- 最近、人権や差別について話し合いをした人の割合

# 市民の役割



- 自分も相手も含めて、人を好きになる
- 相手の存在を認める
- 積極的に対話を求める
- 町内、近隣の方々に挨拶するなど積極的に声かけをする
- 男女共同参画を意識する

# 行政の役割

- 行政は、市民向け、企業向けの人権に関するガイドラインを市民と協働で作成する
- 行政は、差別に関する広報活動・啓発を行う
- 学校は、差別に関する広報活動・啓発を行う
- 行政は、差別に対する学習の場、実践し、気づいて行動する機会をつくる
- 学校は、差別に対する学習の場、実践し、気づいて行動する機会をつくる
- 行政の窓口は、人権に関わる相談に適切に対応できるようにする



# 強調したい・伝えたい具体的な提案・メッセージ

## □ サテライト・オフィス構想の実現に向けて

- **本庁・支所単位（9地区）または、市民センター単位（17地区）ごとに、市民活動サポートセンターの機能を補完する窓口を設置する。**
  - ▶ 場の提供
  - ▶ 市民活動情報の収集や提供
  - ▶ 市民活動の各種相談
  - ▶ 市民活動団体等の連携や交流
  - ▶ 市民活動の人材育成など
- **また、その窓口では、地域活動の支援や地域の困りごと相談などもできるようにする。**

# 今回の取り組みに対する分科会長としての思い

## 1. まつど未来づくり会議について

- 松戸は、「協働の実践都市」として本格的にスタートした。
- 2007年7月の「協働のまちづくり条例」施行の実質的な実践
- 10年後の未来像の構築（協働のまちづくり都市への宣言）

## 2. 地域連携分科会について

- 新旧の団体と人々の交わり
- 老若男女の活発な意見交換
- 未来志向の建設的は構想作成

## 3. 「協働のまちづくり」について

### 3. 1 「協働」を広めたい

- ▶ パートナーシップから協働のまちづくりへ
- ▶ 「協働のまちづくり条例」を身近な活動に活かす

### 3. 2 「協働」を共感したい

- ▶ 町内・地域の活性化は、『挨拶』から始まる
- ▶ サテライトオフィス構想の実現を目指す

### 3. 3 「協働」のキーワードは『ふるさと・松戸自慢』

- ▶ 市民と行政が共に汗を流す
- ▶ 個人、家族、地域を活性化させるには「ふるさと・松戸自慢」
- ▶ 今、出来ることから始める